

抜群の行動力

災害対策でもパワー全開

●ただちに調査し、緊急要望



▶9月・台風21号で大量の倒木(毘沙門堂奥の大文字登山道)



◀6月・大阪北部地震の住宅被害(八幡市)

●被災者救済へ制度紹介



台風21号の暴風被害では、山科全域で屋根にブルーシートがかかった80軒以上を訪問。「制度を知らなかった。ありがたい」など感謝の声が寄せられました。

●四宮川・安祥寺川の改修実現

6年前の台風18号で200件を超える浸水被害が発生し、地下鉄もストップ。「雨が降るたびに不安」の声を受けて、府議に返り咲いてすぐの本会議でとり上げ、知事に管理責任を認めさせました。新たに整備計画が作られ、改修工事が始まっています。



護岸コンクリート補強(安祥寺川)



河床掘下工事が完了(四宮川「沢橋」上流)

「貧困と格差」ただし、子育てにやさしいまち



全国では8割が実施している全貫制の中学校給食を。少人数学級など子育て施策の充実に期待しています。

●幼修寺柴山／三角令子

暮らし応援。安心できる医療・介護を



体力が落ちて医者ににかかる回数が増えてきた時、「マル老制度」で助かりました。お金の心配なく暮らせるようにしてください。

●髭茶屋屋敷町／北本ひろ子

住民の声が生きる「まちづくり」住み続けられる山科へ

本庄さん、頼りにしています！

いのち・安全最優先の京都・山科



4月からの稲荷山トンネル無料化で、新十条通りの交通量増加が心配。隣接する生活道路の安全対策をお願いします。

●西野山中臣町／梅垣静

中小企業・地場産業支援で地域経済活性化



国民生活を立て直すのが政治。中小業者は、外注先でも人手不足で大変。雇用・賃金への支援を。

●日電工・代表取締役／武村猛夫

誰も見捨てない

苦難解決へ奔走!!

「安倍さんはアカン」「もう、食費を削るしかない」と、怒りと暮らしの悲鳴。弱い者いじめの政治は許せません。安倍政権に審判下し、消費税増税の中止を。大型開発ではなく、「住民の福祉を守る」府政実現へ、全力を尽くします。

日本共産党

京都市府会議員 府議団政調会長

本庄たかお 府会

ほんじょう 孝夫

府会議員2期。文化・教育常任委員、高齢社会の安心・安全対策特別委員
1948年、滋賀県高島市生まれ。京都教育大卒。市立中学校教員、京都市教組書記長など歴任。
山科区生活相談所長。「原発ゼロ・山科の会」事務局長。

本庄たかお

“一人ひとり”をとことん大切に

原点は、山科区での「1名でも障害児学級」を実現した運動。「たらい回しはやめて」のお母さんの声が政治を動かしました。議会では、先生の欠員が埋まらない「教育に穴が空く」問題を追究。臨時教員の処遇改善を実現しました。丹後通学圏の高校再編では、「地元高校を守れ」の運動と論戦に取り組み、統廃合を許していません。

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働 NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決

いま、やらかなあかん!
この思い、より強く。

小学生の子どもを育てる母親だから、子育てや暮らしに悩んでいる皆さんの思いを大切に、政治の場で代弁することが私の役目と、がんばってきました。

少子化だからこそ、子育て支援の底上げを。高齢化社会だからこそ、高齢者が生き生き暮らせる生活の保障を。

これからもまっすぐに求めていきます!

日本共産党
京都市会議員

山本陽子

市会

やまもとようこ

市議1期目。2015年、2016年まちづくり委員会、2017年、2018年教育福祉委員会に所属。1974年兵庫県丹波市生まれ。立命館大学卒。在学中、障害児学童の指導員の活動などにとりくむ。新日本婦人の会で、子育てサークル、脱原発の運動などにとりくむ。家族は夫と一女一男。

京都 山本陽子

子育て世代の要求実現に奮闘してきました

小学校のような全貫制の
中学校給食の実現を

中学校給食は、食育の生きた教材として見直され、また子育て支援としても要望が多く、全国で広がっています。代表質問で取りあげ、実現を求めました。教育長の答弁も変化して運動が京都市を動かしつつあります。



給食を食べている中学生

食べている生徒が少ないから、子どもは「恥ずかしい。給食を隠して食べている」という声も。

87% 30%
全国平均 京都市

子どもの医療費は、一部負担1500円に引き下げへ

中学校卒業まで無料化を求め、引き続きがんばります

子どもたちの遊ぶ公園を増やして、利用しやすい環境に!

山科区の公園を調査し、東野公園や中央公園の施設・遊具の修理改善や、東山自然緑地の再整備に伴う疏水公園の改善について市民の要望を申し入れてきました。公園を増やして、子育てしやすい山科にしていきたいです。



年度途中でも保育園に入れるように、そして障害のある児童の保育の充実を!

年度途中でも、障害があっても安心して入れるよう、認可保育所の増設、保育士確保のための処遇改善を引き続き求めます。

公共交通の充実、現在の敬老乗車証制度を守ってこそ!

敬老乗車証守ろうの運動と連帯して、代表質問で京都市に改悪方針撤回を求めました。鏡山循環バス・くるりの増便、そして小金塚コミュニティバスの実現を市議会でも取り上げてきました。引き続き、公共交通充実の願い実現に奮闘します!

